

令和3年度第2回堺市北区政策会議（書面開催）

「北区の魅力発掘・発信・創出について」意見聴取の一覧

1 「カテゴリー分類」において4つの区分に分類していますが、カテゴリー内にあてはめるべき魅力が他にあればご記入ください。

（資料1）

■カテゴリー内にあてはめるべき魅力について

【魅力1：社会基盤】

No.	意見内容	意見者
1	○区の政策等をターゲットに応じて効果的に情報発信できる基盤	魚谷構成員
2	○個人経営の店舗	長尾構成員
3	○省エネルギーの街、バリアフリーの街	坊農構成員
4	○子育て世代にとっては医療機関、塾などの教育関連施設	佐藤特別構成員

■カテゴリー内にあてはめるべき魅力について

【魅力2：自然】

No.	意見内容	意見者
1	○農地	加我座長
2	○虫など生き物や動物 ○朝日、夕焼けなどの景色	清水構成員
3	○自然との共生	坊農構成員

■カテゴリー内にあてはめるべき魅力について

【魅力3：文化】

No.	意見内容	意見者
1	○町の行事 ○里山景観	清水構成員
2	○海外交流	坊農構成員
3	○在住外国人との異文化交流 ○スポーツ交流	堀川特別構成員

■カテゴリー内にあてはめるべき魅力について

【魅力4：コミュニティ】

No.	意見内容	意見者
1	○町の行事 ○ボランティア活動	清水構成員

2	○災害時の助け合い	長尾構成員
3	○地域の防災コミュニティ ○大学との連携	坊農構成員

2 「ポイント1～4」に付け加えるべき項目等があればご記入ください。

(資料1)

No.	意見内容	意見者
1	○ポイント2：ターゲットの「すべての人」には外国人居住者や観光客（国内、海外からの）も含んでいるものとする。北区には古墳等の魅力ある観光資源が多くあるので、これからは国内、海外からの観光客の誘致のための情報発信も必要と思う。	魚谷構成員
2	○ポイント1：北区の「たのしい」をたくさん集めて、それを分類し、もっと魅力的なものになるよう加工してみればよいと思う。 ○ポイント2：ターゲットごとにたのしめるようなイベント実施やパンフレット作成などの手法を考える。 ○ポイント3：ターゲットに応じた効果的な広報、プロモーション方法を考える。 ○ポイント4：事業を推進する主体を明確にする。	清水構成員
3	○ポイント1：伝えたことが共通認識や共通意識となっていくところまで見据えられると良い。認識や意識を共有できていることで相互的なつながりを感じられると思う。また、区民同士、区民と企業や学校などの組織、組織同士など様々なつながり方に合わせた工夫も必要だと思う。 ○ポイント4：主体の柔軟性が大切だと思う。事業の実行力だけでなく、様々な意見を受け入れる力が求められる。	竹内構成員
4	○ポイント1：北区の名所を伝える工夫 ○ポイント2：要支援者、要介護者等をターゲットとした工夫 ○ポイント3：ピアッザ、インスタグラムを活用 ○ポイント4：DX化により事業を推進	坊農構成員
5	○ポイント2：外国人居住者もターゲットに加えるのが良い。高齢者層は特に外とのコミュニケーションを取りづらい独居高齢者もターゲットに加えるのが良い。 ○ポイント3：様々な収集チャネル、手法の検討により魅力情報を継続的に収集できるようにする仕組み作りが必要と思う。	堀川特別構成員

3 北区の魅力発掘・発信・創出について（取組改善）に対してご意見があればご記入ください。

(資料2)

No.	意見内容	意見者
1	○改善2について、ポスターの掲示場所、チラシの配架先をテーマ等に応	魚谷構成員

	じて追加選定することも必要と思う。選定候補として北区の地域活動団体（自治会等）、市民活動団体（ボランティア団体、NPO 法人等）が考えられる。また、可能であればポスター掲示場所にチラシも一緒に配架し、持ち帰ってもらえれば家族や友人等多くの人の目に留まると思う。	
2	○使ったツールは良いと思うが、インスタグラムの取組は年齢層が偏っているように思う。子どもたちや若年層を含め、まずはフォロワーを増やす工夫がさらに必要と思う。例えば、フォロワーを増やす方法をワークショップ等で提案してもらいたいと思う。	清水構成員
3	○改善1について、区民の投稿に対するコメントでは魅力となるものを明確に示したうえでコメントできていると感じた。投稿に対するコメントは投稿主に宛てたものになるが、ただ返信するだけではもったいないので、他の読み手にも呼びかけるようなものであってもいいと思う。施設やイベント・講座等の発信については、おすすめするのはどのような人かということも伝えられたら良いと思う。次の参加につなげていくためにアプローチをかけていく工夫はもっとできると思う。 ○改善2について、インスタグラムのポスターで実際の投稿が紹介されているが、どのような投稿をすればよいかイメージが湧きやすく良いと思う。ピアッザのポスターでも投稿のヒントとなる文言がある点がよかったと思う。大泉緑地で掲示したポスターは他の場所にも掲示できれば良いと思う。	竹内構成員
4	○子育て世代が SNS を見て保存したくなるような情報があれば良い。	長尾構成員
5	○改善1について、インスタグラム、ピアッザへの投稿もよいが、動画での情報発信が、これから効果的になるのではないかと思う。 ○改善2について、周知対象は北区エリアに限らず、堺市本庁舎や周辺の区でも広報してはどうか。	坊農構成員
6	○まだまだ観ている人が少ないので周知の必要がある。	八木構成員
7	○住民の指摘などに素早く対応していくこと自体が重要で、そうした姿勢が信頼性を積み重ねていくと思う。	佐藤特別構成員

4 北区の魅力発掘・発信・創出について（令和3年度取組）に対してご意見があればご記入ください。

（資料3）

No.	意見内容	意見者
1	○取組3について、このようなアナログ的取組も良いと思う。インセンティブの供与により応募者も増え、正解者へインスタグラムの周知もでき、投稿者の増加につながったと思う。また、興味がある人々の情報も入手可能となり、次のステップにつなげることが出来る。今後もこのような手法を活用することが必要と思う。	魚谷構成員
2	○企業と連携することは重要。鉄道会社とのコラボは成果があったと思	清水構成員

	う。地元企業、個人店舗も含め、広げていけば良い。	
3	<p>○取組1について、北区の魅力発掘・発信・創出のために行っていることを広報紙でも大きく取り上げることは大切だと思う。北区広報11月号のピアッツァの記事では投稿に対するコメントも一緒に掲載することで、まだアプリを使ったことがない人が、区役所から反応があることや交流が生まれていることを知れて良いと思う。</p> <p>○取組2について、写真を持ち寄って直接語り合うだけでなく、写真の撮り方講座もあったことは参加のきっかけになったと思う。</p> <p>○取組3について、北区の魅力をクロスワードで楽しめるようにしたのは良かったと思う。他にもゲーム要素がある取組を定期的実施できれば広報紙に馴染みのない子どもにも効果的で良いと思う。</p> <p>○取組4について、ホームページに魅力的な写真があると目を引くし、華やかになって良い。</p>	竹内構成員
4	<p>○おうち時間も増えているのでクロスワードのような広報紙の読者が参加できる企画がとても良いと思った。</p> <p>○写真コンテストのような企画があれば楽しそう。</p>	長尾構成員
5	○地域のイベントや取組を紹介する動画があっても良いのではないかな。	八木構成員
6	<p>○長期にかけてやっていく、継続することが大切である。</p> <p>○北区広報12月号のクロスワード企画は一步踏み出した感がある。季節に応じて、例えば、12月に向けて、北区のすごろくやカルタを作るなど、子どもから大人まで楽しめるものを企画することも一つ。また、七夕に笹を飾り、魅力に関する短冊を思い思いに作ってもらうのも一つ。ロコミで「こんなたのしいことしている」と伝わっていくような取組が良い取組と言える。皆さんに興味をもって参加してもらえる取組が大切である。</p>	藤木特別構成員
7	○南海電鉄との連携企画は良いと思った。鉄道事業者だけでなく、他の地元企業と連携して、地元の魅力発信をしていくような企画をもっと進めていければ良いと感じた。	堀川特別構成員

5 北区の魅力発掘・発信・創出について（令和4年度取組）に対してご意見をご記入ください。

（資料4）

No.	意見内容	意見者
1	○InstagramなどのSNSは、やはり、若い方が参加しやすいものであると考えている。SNSにはその良さがあるが、高齢者も気軽に参加できるような魅力に関する取組を行うことが、地域をつなげていく一助になると考えている。区役所で過去に実施していた「写真展」は、高齢者が参加しやすいものであったと思う。地域の中でふと感じた北区の良いところを区民が紙媒体でも共有できるような取組が実現すると、区民が	天野構成員

	見つけた魅力を区役所が集約し、北区民が共感でき、新たな取組も生まれると思われる。	
2	○テーマによっては講座の講師やオフ会のファシリテーターとして市民活動団体（任意団体、NPO 法人など）を活用できると思う。北区内には多く市民活動団体やボランティア団体があり、様々な分野で活動している。民間業者を活用するよりも、まずは地域資源を活用する方が住民の認知度アップにつながると思う。	魚谷構成員
3	○インスタグラム、ピアッツァの活用はすごく良いと思う。広報紙にその内容を掲載しているのでも、SNSを活用していない人も見られるし、やってみようと思うきっかけになると思う。特にピアッツァは投げかけた質問にそれを見た人が答えてくれたり、不要なものを譲ったり交流の場になっていて「たのしい」がにつながるツールだと思った。また、写真だけでなく簡単な紹介文や地図や住所が載せてあることによりその場に行ってみようという気になるとも思った。	金戸構成員
4	○オフ会は良いと思う。仲間でフィールドワークをして気付きを共有したりすることで、シビックプライドも形成されていくと思う。	清水構成員
5	○テーマを絞った投稿の募集を行うことでそれに沿って自分もやりたい、行きたいと思ってもらいやすいと感じた。「たのしいこと」を新しく始めるきっかけにもなると思う。 ○講座について、区の魅力的な場所をグループで見て回る区内魅力（観光）ツアーのようなイベントも良いのではと思った。また、ただ話を聞くだけではない工夫があれば良いと思う。 ○パネル展示では個々人が発見した魅力が、オフ会での話し合いで共有され深められて良い。また、施設やイベント、事業者との共同により行われることは、その過程で魅力が広がっていく感じがして良いと思った。 ○若い世代（小・中・高校生、大学生）を積極的に関わらせていくことができれば良いと思う。パネル展示で学生卒のようなものを作ったり、SNSで「魅力見つけ隊（仮）」として魅力のインフルエンサーとなる若者を募集したりするなどはどうか。	竹内構成員
6	○魅力発掘・発信から創出につなげるためには、人が集まり交流できる場（機会）を作ることが大事なので、講座やオフ会を積極的に取り入れたら良いと思う。また、それらが1度で終わらず継続して行えたら良いと思う。	羽根構成員
7	○北区の特徴ある場所や歴史を取り上げ、選抜した著名な方にピアッツァ、インスタグラムで地域の情報発信をしてもらうのはどうか。 ○近年、日本各地で災害が発生していることを鑑み「楽しく親子でする防災教室」など安心して生活できるまちをめざす取組はどうか。	坊農構成員
8	○北区の祭り（ふとん太鼓等）を、地元の精通者が講師となった案内と解	八木構成員

	説のもと見て回るフィールドワークを実施してはどうか。参加者は年齢・性別・地域を問わず広く募集する。事前学習と祭り当日のフィールドワーク、事後の意見交換会も行う。	
9	○「たのしい」をテーマに様々な取組を実施しているので、接点も様々になることから多様なターゲット層に向けて実施できる点が良いと思う。 ○「たのしい」のテーマを行政側から設定するだけでなく、区民から募集してみるのはいかがでしょうか。視点が違うテーマを発掘できて面白いのではないかと思います。	吉村構成員
10	○他の地域との連携も模索してはどうか。御堂筋線沿線には服部緑地、長居公園という有名な公園がある。大泉緑地と合わせて3公園で連携イベントを実施し、大阪メトロも巻き込めば、北摂地域へ魅力の発信ができる。 ○地元の祭や歴史に詳しいベテランと若者が交流できる場を作り、若者にネット配信してもらうよう仕向ければ、街の魅力を次世代に伝えられるだけでなく、これまで気づけなかった若者の視点の魅力を発掘することも期待できる。	佐藤特別構成員
11	○講座やオフ会などのイベントへ一般の方々に企画から参加いただくのはどうか。ボランティアとして企画から当日の運営まですべてに参加したい方は区内に一定数いると思うので、一度、全部お任せしてみて、実例が出てきたら、また別の人に違うことをお任せするなど、関わる人をどんどん広げていけたら良いと思う。	堀川特別構成員

6 北区の魅力発掘・発信・創出について（区民自らの取組等を支援）において、区民、協働（区民、地域、企業）の視点から「魅力4：コミュニティ」を「ポイント1～4」を踏まえどのように発信し、広め、地域をつなげ、輪を広げ、外から見た魅力に育てつなげていくかについて、具体的にご意見をご記入ください。

（資料5）

■区民の視点から

No.	意見内容	意見者
1	○北区は特に共同住宅居住者が多く、転入者も多いため自治会などの地域団体にも属さない人が多いと思う。そのような地域活動等の情報が入手困難な方々への周知方法を工夫する必要があると思う。	魚谷構成員
2	○区役所から北区の魅力を発信していることで地域でのつながりを持ちやすくなる。地域でつながることで「たのしい」を共有できる。興味はそれぞれ違うので、全員一致ではなくても魅力の中から何か一つでも「たのしい」と感じられることがあれば良いと思った。興味があることは年齢、職業、家族構成で変わってくると思う。特に子どもは成長過程で大きく変わるので幅広く取り上げると良いと思った。	金戸構成員
3	○SNSで写真と文章を発信し、情報交換する。	竹内構成員

	<p>○若い世代の力で魅力発掘隊をつくる。</p> <p>○コミュニティ紹介まとめを作成する。</p> <p>○テーマごとに魅力認定を行う。</p>	
4	<p>○子育て世代はSNSがあるが、子ども・母・祖母と3世代で楽しめるものがあれば良いと思う。そこから年輩の方にも広がれば良い。</p>	長尾構成員
5	<p>○町自慢を発信してはどうか。熱心な市民活動団体（ボランティア団体、NPO法人、町会、サークル、学校、園、子ども食堂など）を紹介し、活動者へのインタビュー、参加者の声も交えて、見た人が活動に参加したくなるような発信ができれば良いと思う。身近にそういった活動があることがわかれば参加しやすくなると思う。月ごとにテーマ、ターゲット（子ども、青少年、子育て世代、シニア、高齢者）を絞るのも良いと思う。また、説明やイベント情報を盛り込んだ文化資産の紹介や名物、グルメ、自慢スポット等の発信も良いと思う。</p> <p>○発信方法として SNS はウケれば拡散効果が大きいので良いと思う。また、地域情報誌の活用も考えられる。</p>	羽根構成員
6	<p>○北区の魅力を広く知っていただくため、ふとん太鼓等、伝統的な祭りを地元のコンシェルジュが動画で紹介する。また、その内容を日本全国及び世界に向けて発信する。</p>	坊農構成員
7	<p>○北区ホームページに区民の取組を紹介する掲示板を設け、広く発信するとともに、幅広い人々に周知をしてもらう。</p> <p>○魅力あるコミュニティを構築している団体に、北区長から賞を与える。</p>	八木構成員
8	<p>○リアルで会う場の創出が必要と感じる。例えば、子どもが生まれたばかりの子育て世代は、自分と近い環境の人と接点をもち、自分の意見を聞いてもらえる場があるだけでも、SNS だけでは感じられないリアルな温かみを感じ、気持ちが和らぐと思う。</p>	吉村構成員
9	<p>○気軽に集える場をどう作っていくか。例えば、ふとん太鼓の祭りの練習や準備を、祭りを知らない子育て世代が体験でき、祭りの由来も知ることができるようなイベントなど、同好の士ではない多様な世代の集まりをプロデュースしてはどうか。</p> <p>○町の魅力を伝えるのは講座のような座学だけではなく体験を盛り込んでいく必要があると思う。</p>	佐藤特別構成員
10	<p>○区民が自主的に実施している活動をもっと支援してはどうか。そのような活動はカルチャー講座やイベントなど様々あると思うので、まず区内でどのようなものがあるのか、積極的に情報収集して、様々なPR媒体で活動を露出していくことから始めていけば良いと思う。金銭的な支援がなくても PR だけでも十分。区民参加型のイベントは PR によって規模も大きくなっていくかもしれないし、音楽教室などでは、教室合同の発表会なんかに発展していくかもしれない。他の活動を知ること</p>	堀川特別構成員

	思い通り活動ができていない個々の区民は問題点の把握も可能になると思う。	
--	-------------------------------------	--

■協働（区民、地域、企業）の視点から

No.	意見内容	意見者
1	○NPO 法人を立ち上げ、高齢者の介護事業の一環として、体操や脳トレなどを行う場を設けている。NPO 法人の立ち上げには苦勞したが、参加いただいている方には好評である。このような事業を行えるのはNPO 法人ならではと感じている。適切な情報発信で他校区や他区へ広がっていく可能性を感じており、行政の支援があればもっと広がると思う。	天野構成員
2	○他の項目にも共通するが、北区では様々な分野で活動している市民活動団体（ボランティア団体含む任意団体、NPO 法人など）が多数ある。可能な限り活動内容を把握し、積極的に支援し、市民へ活動の参画を促し、事業内容に応じて団体との協働をはかることで、区民の認知度アップにつながり、外から見た魅力に育てていくことが出来ると思う。	魚谷構成員
3	○地域でつながり、輪が広がり、北区の人でなくても入りたいと思える情報を発信できるのは良いと思った。地域活動、企業のイベント等のPRをして、より多くの人に関わってもらえれば「たのしい」がより広がるように思う。PRだけでなく、結果や事後報告をすることで今後の参加者増加につながるように思う。	金戸構成員
4	○魅力自慢大会・魅力アピール大会 ○魅力的な●●コンテスト（コミュニティに関して） ○イベントごとのポスター掲示場所の協力 ○魅力観光ツアー（一般的な観光スポットではなく）	竹内構成員
5	○区民のスキルアップにつながる講習会、支援事業などはどうか。防犯、防災、高齢者向けスマホ教室、子ども・青少年向けの企業体験なども積極的に取り入れアピールできると良い。コロナ禍で安易にペットを飼う人が増え、飼育放棄となり野良犬・猫が増え、殺処分が社会問題になっている。保護犬・猫に関する啓発や地域猫活動の啓発も必要かと思う。	羽根構成員
6	○安心・安全に住める“まち”をめざして地域と事業者（企業等）、大学が連携して防災イベントを大泉緑地などで実施する。 ○自主防災会等による防災講座を開催し、併せて各事業所は防災に役立つ商品を展示・販売する。 ○大学生に対しては音楽コンサートを行い、集客を増やす。	坊農構成員
7	○大学生や高校生を巻き込んだ取組（イベント・研修会等）を実施する。 ○企業がスポンサーとなった取組を実施する。 ○災害時等への対応に向けて、企業と協定を結ぶ。	八木構成員

8	<p>○様々な団体が実施している取組を点で収めるのではなく、線に、そして面にする必要がある。</p> <p>○取組を発信するプラットフォームを作成したり、学生ボランティアなどの活動発信のサポート（経費支援や地域紙へのコーナーを用意する等）をしたりするなど行政側が発信の場を提供するのはどうか。</p>	吉村構成員
9	<p>○地域の区民、企業が協力して、駅前などその地域の公共的空間に憩いの広場をつくるというような共同作業できるイベントを通して、地域の魅力作りと交流の場を生み出す。広場で定期的にフリーマーケットや地場産市場など人が集える空間を作ることで、住民と企業の連携を深める。</p> <p>○区民や地域のものづくり企業などで一芸に秀でた人を「北区の達人」として広報紙で紹介し、さらに体験イベントみたいなものを企画することで地元にも目を向けてもらう仕組みを作る。</p>	佐藤特別構成員
10	<p>○各企業との協働に関しては、各企業にどのようなメリットを受けさせることができるのかという視点が必須だと思う。例えば、鉄道事業者だと乗客増に寄与するとか、食品であれば、製品の認知度が広がり、売上増につながるなど。このようなことにつながれば、資金的なことも含めて各企業は様々な協働施策に参画すると思う。</p> <p>○堺駅前前で実施されていたチェコフェスティバルでは、チェコの魅力を伝えることにより、アフターコロナ時にチェコへの海外渡航が増え、関空に向かう鉄道旅客増につながっていた。このような視点が必要ではないかと思う。</p>	堀川特別構成員

■その他

No.	意見内容	意見者
1	○なかもずエリアについては、交通の要衝であることに加え、文教、商業地域としても活性化していくことが望まれる。	天野構成員
2	○ドローンによる疑似遊覧飛行はどうか。北区も古墳など歴史遺産が多いので空からの景観をインターネット上の動画で楽しんでもらう。なお、災害時は被害状況を確認できる。	坊農構成員
3	○他の地域との連携を深める事業を通じて、他地域での北区の認知度を高めるとともに、服部緑地など広い敷地の公園があり、子育て世代が多いという共通項の多い地域から優れた施策を取り込む機会にもする。	佐藤特別構成員